

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和6年3月25日

事業所名：フレンズポートふなおか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室は66.4㎡あります。また相談室と事務室も児童の利用時間中は活動場所として開放しています。さらに、児童の要望に応じて屋外活動(施設敷地内外)も積極的に実施しています。 当事業所はお子さま各々の「ここで、これをしたい」という気持ちを尊重しており、支援者は安全を担保しながら可能な限り「(お気に入りの場で) 不安なく過ごしなが、様々な学び(スキル)を獲得していただく」という支援方針のもと対応しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常勤で児童発達支援管理責任者1名・児童指導員1名 非常勤で児童指導員4名を配置しております。基本的には平日の開所日には職員全員が出勤しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安全点検を定期的(月1回)に実施しており、その際にもご利用のお子様皆様が過ごしやすく活動しやすい環境という視点でも点検し随時整備しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の支援内容・業務に関しては、幅広く意見を集め、支援会議等の場も活用しながら、より良い支援の在り方の追及にスタッフ全員で取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度においてもアンケートの実施でいただいたご意見を令和6年3月25日に当事業所HPにて公表するとともに、その内容を事業所全体で周知し、今後の業務改善につなげてまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和6年3月25日にHPにて公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者機関による外部評価は実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県や市による虐待防止・発達支援について・発達障害への理解…等の外部研修を毎年受講し、得た学びを、全職員へ周知し、また支援現場に反映しながら事業所運営しております。内部研修では当事業所の運営組合による感染予防についてなどの研修が定期的開催され、スタッフ全員が参加し日々の支援に活かしております。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			まず、保護者・お子様と日常接する中で、ニーズや課題の聞き取りを行っております。また定期的に開催される担当者会議（関係者間の各種連絡会を含む）などで得られる情報も含めて参考にし個別支援計画を作成しております。お子様の将来を意識し、今のうちに身に付けてほしいこと・のばしたい力やスキルを長期・短期目標に反映しつつ、到達度などはお子様の現在の様子に合わせた計画を作成するようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールの定着した使用はできておりませんが、独自のツールを作成し使用するなど、模索しておりました。現状の支援において、さらに個々の障害特性・能力・成長過程等にあった支援を展開していけるよう今後は標準化されたアセスメントツールの導入方法を検討してまいります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			対象のお子様それぞれについて発達支援としての効果的な実施方法や、また負荷になりすぎないように等、現在における状況を児童発達支援管理責任者・児童指導員の全員で検討・判断し活動プログラムを計画するようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			設定活動では、お子様たちにはできるだけフリーな気持ちで参加できるよう支援者は心がけています。日々それぞれのお子様好きな活動・やりたい活動をお子様ご自身で選び、その活動を通して学びを得ることを基本的なプログラムとしつつ、支援者はアプローチの中でそこに少しずつ変化を加えながら固定化を防ぎお子様の対応力等の成長を促してゆくことを大切にしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの開所日の状況に応じた課題活動（創作活動・屋外活動・療育プログラム…など）を行っています。また「お子様がいかに興味を示され自発的に行動されるか」ということに重点をおいているので、お子様が好まれる活動は積極的に取り入れ、また各々お子様のその日のご様子においても活動内容の選択肢をいくつか用意して提供するようにしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画を作成するにあたっての着眼点として個別活動と集団活動での様子（社会性の部分など）を含ませて検討・作成しています。
	⑮	支援開始前には必ず職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児童についてや職員間の情報等々日々のミーティングにて確認しています。行事などが予定されている際は、役割分担や諸々の留意事項についてもスタッフ全員が確認してから業務にあたっています。
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有しているか	○			その日行われた支援の中で、気づいた点や連絡事項などの周知はその日の支援終了後に時間を設けて情報共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用時間や支援の提供・内容についてなど、利用実績に関わることについて記録を残しています。また個別ではヒヤリハットやニコリハットも含め支援に繋がる記録づくりを意識して取り組んでおり、過去と現在を比べての様子変化の確認などに役立っています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			担当相談員の定期的なモニタリングと同時に実施しています。また成長による変化等についてなど、その都度計画を修正・調整するように心掛けています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・余暇の提供を日々の活動に取り入れており、また外出行事には地域交流の機会の提供となる内容で実施しております。
関係者や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が毎回参加しています。
	㉑	学校との情報共通(年間計画・行事予定等のの交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			ご利用児童が通う学校と当事業所が隣接しており、学校との日々のやりとりの中で、間にあるような随時必要な情報の共有に努めています。また定期的な連絡会(月1回開催)も行われています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は、医療的ケアの必要な児童の受け入れが可能な体制になく、受け入れは実施しておりません。当事業所は五泉市障がい者総合支援協議会こども部会に参加しており必要性等の動向は把握しております。引き続き障害児通所支援事業所として地域課題に取り組んで行ける方法を模索して参ります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に保育所等での様子を見学させていただくとともに、対象児童への理解を深めるための情報共有を積極的に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			事業所で実施していた支援の内容と経過、ご本人への配慮事項など引き継ぎを行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年度においても新潟県の専門機関が主催する発達支援に携わる支援者向け研修や虐待防止研修に参加しております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			主に外出行事においてですが、定型発達のお子様達とも交流の機会を持つことができるような設定を意識的に設けてきており、それは今後においても継続してまいります。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童発達支援管理責任者が部会員として五泉市障がい者総合支援協議会(こども部会)に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご家庭と共通理解のもと児童に関わっていけるよう、モニタリング以外でも必要に応じて情報共有を行っております。
	㉙	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	事業所の掲示等でペアレントトレーニングについてご案内したことがありましたが、これまでのところ、保護者がペアレント・トレーニング等の専門的な支援を受けられたという実績はありません。

保護者への説明責任	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際に、丁寧な説明を行うよう心がけています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談を受けた際には、事業所としての助言を行うと共に、必要に応じて担当の相談支援専門員・関係機関とも連携し対応しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、そのような支援は実施しておりませんが、保護者の皆様からのご要望に応じて対応していければと考えております。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応の体制を整備しており、ご利用の契約時に説明しております。さらに随時ご利用可能なご意見箱の設置を玄関入口の前に設置しております。
	③⑭	定期的に会報当を発行し、活動概況や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、事業所での日常活動の様子や行事での様子を記載した「おたより」を発行しています。
	③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			毎年、保護者と個人情報取り扱いに関することについての承諾書の交わしを行っております。各種記録等については新潟県中東福祉事務組合の規程に順じて取り扱い、保管を行っています。また、全職員については守秘義務があり、業務上知り得た個人情報についての取り扱いに十分に注意し対応しております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思疎通、情報伝達の配慮として、視覚的な情報の提示、絵カードや50音ボード、ハンドサインなど非言語でのコミュニケーションの保証、簡潔で具体的な言葉かけなど実施しております。またPECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）については研修を受けさせていただき、その他さまざまなAAC（拡大・代替コミュニケーション）について関心を寄せて支援に取り入れていけるよう取り組んでおります。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			これまでは盆踊り大会・さいの神・合同防災訓練は当事業所の運営組合と地域により合同開催しており、この機会には当事業所も参加し交流を図ってきておりました。近年はコロナウイルス感染防止の為、すべて中止されていましたが、今年度はさいの神と合同防災訓練の再開があり、今後におきましても事業所としてこれまで通りの地域との関係を築いていけるよう努めてまいります。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		左記にある各種マニュアル（その他、発作・午睡・水遊び・屋外活動等々必要に応じたマニュアルを作成）の他、感染症・自然災害関連のBCPと安全計画を整備し、全職員への周知を行っています。そのマニュアルに従っての活動（研修・訓練情報）などは保護者へ業務概況報告・運営支援計画・毎月のお便りを通してお知らせしております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回、様々な非常災害を想定した避難訓練を実施しています。また避難だけでなく、訓練用の水消火器を使用した初期消火の訓練も定期的に行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関する園内・園外研修に参加するとともに、適切な支援方法について学ぶ勉強会も定期的に行い、スタッフ全員の意識と支援スキルの向上に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	これまで、また今現在において身体拘束を実施したことはありません。ただ身体拘束を行う場合については、虐待防止委員会や身体拘束についてのマニュアルは当事業所も関わってすでに設置済みであり、そこでの決定や手続きの他、当然児童や保護者、主治医の了解を得た上で組織的に決定。また記録や計画（身体拘束を経過的に解く方向の内容）にも間違いなく記載していくものと承知しております。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、該当する児童の利用はありませんが、今後を利用を受け入れる際には、必ず主治医との連絡体制は整えて対応いたします。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例はまとめており日々のミーティングや支援会議においてその内容を全職員が共有しております。その事例一つ一つを検証し迅速に対策することにより、ヒヤリハットの再発防止とそこからつながる事故防止に努めております。